

平成30年第9回南島原市教育委員会定例会

日時 平成30年9月19日(水) 午前10時00分
場所 南有馬庁舎 2階会議室

議事日程

第1 開会

第2 前回会議録の承認

第3 会議録署名人の指名

第4 教育長報告

第5 議案審議

議案第38号 南島原市教育振興基本計画の改訂について

議案第39号 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書(平成29年度事業分)について

第6 その他

(1) 平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)について

(2) 次回教育委員会定例会の開催について

(3) その他

第7 閉会

南島原市教育委員会定例会教育長報告

○平成30年7月の諸会議並びに諸行事

30日(月) 10:00 定例教育委員会(南有馬庁舎)

31日(火) 9:00 平成30年度第1回世界遺産影響評価委員会(有馬キリシタン遺産記念館)
10:00 議会文教・厚生委員会(有家庁舎)

○平成30年8月の諸会議並びに諸行事

1日(水) 10:00 第1回自己点検評価検討会議(南有馬庁舎)

14:15 アートビレッジ・シラキノ池田俊彦氏就任挨拶及び歓迎会(西有家庁舎ほか)

16:30 中学校総合体育大会全国・九州大会出場激励会(西有家庁舎)

6日(月) 16:00 第35回全国少年少女レスリング選手権大会成績報告会(西有家庁舎)

7日(火) 9:15 平成30年度第4回教頭会研修会(コレジオホール)

8日(水) 10:00 議会閉会(有家庁舎)

10日(金) 9:00 A L T辞令交付式(南有馬庁舎)

13:30 教育長・教育委員辞令交付式(西有家庁舎)

14:00 部局長会議(西有家庁舎)

16:30 県議との勉強会及び意見交換会(真砂)

11日(土) 18:30 梅谷スポーツクラブ社会体育功労者祝賀会及び全国大会出場壮行会(城)

17日(金) 18:00 坂上教育委員送別会(城)

21日(火) 7:10 心のふるさと交流事業出発式(コレジオホール)

14:00 南島原市教職員研修「さきがけ」教育講演会及び講師との意見交換会(コレジオホールほか)

22日(水) 終日 対馬市中高連携学校視察(～24日)(対馬市)

24日(金) 9:00 部局長会議及び市表彰審査会(西有家庁舎)

26日(日) 13:00 南島原まちづくり市民フォーラム(コレジヨホール)

27日(月) 16:00 南島原市教育支援懇談会(真砂)

議案第 38 号

南島原市教育振興基本計画の改訂について

提案理由

教育基本法第 17 条第 2 項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めた「南島原市教育振興基本計画」を改訂したいので、教育委員会の意見を求める。

平成 30 年 9 月 19 日提出

南島原市教育委員会
教育長 永田 良二

議案第 39 号

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書（平成 29 年度事業分）について

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定により、平成 29 年度における教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表しなければならないので、教育委員会の意見を求める。

平成 30 年 9 月 19 日提出

南島原市教育委員会
教育長 永田 良二

教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
(平成29年度事業分)

平成30年9月

南島原市教育委員会

目 次

(ページ)

- 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について
- 学識経験者の所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	-----	1
1 教育委員会及び教育委員の活動		
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信		
(2) 教育委員と事務局との連携		
(3) 教育委員会と市との連携		
(4) 教育機関等との連携		
(5) 教育委員の研修等		
2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）	-----	2
(1) 教育行政運営に関する一般方針の決定		
(2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定		
(3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申		
(4) 教育長、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免		
(5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定		
(6) 教育委員会規則の制定又は改廃		
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を述べること		
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱		
(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定		
(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定		
(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定		
(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表		
第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）	-----	3
1 教育環境の充実に関する事務		
(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事		
(2) 小・中学校の整備改修		
(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修	-----	4
2 学校教育の推進に関する事務	-----	5
(1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）		
(2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）		
(3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員の配置）		
(4) 子ども支援員配置事業		
(5) 市教職員研修「さきがけ」		

(6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展	-----	6
(7) 人間教育研究指定小学校事業		
(8) 人間教育研究指定中学校事業		
(9) 総合学習事業（小学校）		
(10) 総合学習事業（中学校）		
(11) 語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手の配置）	-----	7
(12) 学校給食関連設備整備事業		
(13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業		
(14) 幼児教育に係る事業		
(15) I C T機器の整備		
(16) 中体連補助事業		
3 社会教育の推進に関する事務	-----	8
(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動		
(2) 家庭教育支援の充実		
(3) 地域教育力の充実	-----	9
4 スポーツの振興に関する事務	-----	14
(1) スポーツイベントの開催		
(2) スポーツ団体との連携	-----	15
5 文化財の保護活用に関する事務	-----	16
(1) 資料館等の維持・管理		
(2) 指定文化財の保護・管理		
(3) 埋蔵文化財の発掘調査		
(4) 文化財保護審議会		

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成の仕方について

- 1 教育委員会の所管事務について、各項目ごとに、点検・評価のコメント及び活動内容について記載しました。
また、各項目ごとに、評価ランクとして、4段階の自己評価（A～D）を記載しました。

A	達成・拡充
B	達成・継続
C	見直し・縮小
D	廃止

- 2 回数、人数等、平成28年度と比較できるものについては、[]書きで、平成28年度の数値を掲載しました。
- 3 南島原市教育振興基本計画の指標（数値目標）があるものについては、【指標】で平成29年度の目標指数を記載しました。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

本市教育委員会においては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定によりまして、昨年度(平成29年度)の所管事務について、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。また、点検及び評価を行うに当たって学識経験者の知見の活用については、二人にそれぞれ所見をいただきました。

自己点検及び評価に当たっては、客観的な視点に立って実施しました。その結果、特筆すべき事項として次の点が挙げられます。

教育委員会の活動においては、ホームページによる詳細な会議録を毎回公開し、積極的な情報発信を行いました。さらに、総合教育会議を通じての活発な意見交換と学校訪問や各種学校行事に参加することにより、市や学校との連携を図りました。また、学校施設整備においては、老朽化施設を中心に改修整備を行いました。耐震化については、平成26年度に完了しましたが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、非構造部材耐震化改修工事に着手しております。今後は、全ての学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めてまいります。また、近年の地球温暖化による気温上昇に対応するため、市内8中学校の普通教室に空調設備を整備しました。小学校につきましては、平成29年度から設計業務に着手し、平成30年度から早急かつ計画的に整備を進めていき、安心・安全で快適な学校環境づくりに努めてまいります。

学校教育においては、確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育む教育の推進に努めました。学校数は、南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画に基づく小学校の統合及び分校の併合により、小学校17校(うち分校2校)と中学校8校となりましたが、個々の児童生徒にきめ細やかな対応をするために、子ども支援員等を配置しました。また、教職員のスキルアップを図るための教職員研修「さきがけ」の実施や計画的な学校訪問等を実施し、学校力の向上を目指しました。その他、生きるための学力と人間力の向上を狙った研究指定や、就学・教育支援、子どもの悩み相談事業等を展開しました。各学校の特色ある取組を支援するために総合学習事業等も実施しています。新学校給食センター建設については、基本・実施設計に着手しました。今後も、各事業を効果的・継続的に推進してまいります。

社会教育の推進においては、「子育てしやすいまち」、「住み続けたいまち」を目指し、家庭教育支援に関わる地域人材の養成や南島原ファミリープログラムを活用し、乳幼児を持つ親の学習機会の充実に取り組みました。更に、放課後子ども教室「寺子屋21」や中学生を対象とする学習支援「南島原未来塾」を継続して開設したほか、通学合宿モデル事業を行うなど、学校・家庭・地域の連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力向上を図りました。平成29年度からの新たな事業として、地域活性化を図るため「地域の力を考える集い」を市内4地区で開催し、市民一人ひとりが今後の南島原市を考える機会となりました。その他、セミナーヨ現代版画展をはじめとした芸術文化の振興や、6図書館2図書室の恵まれた環境を生かした「本でつながる学校図書館連携事業」など読書活動の推進に取り組んでまいりました。今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、社会教育施設等における人生各期における学びの機会の充実と学びの成果を地域に還元できる人材の育成に努めてまいります。

スポーツの振興においては、市民の健康増進とスポーツ競技力の向上及びスポーツによる交流人口の拡大を図り、地域の活性化につながる事業を実施しました。中でも「第27回原城マラソン大会」においては、昨年同様の大勢の参加者を得て盛大な大会になりました。今後も市民総参加型の一大イベントとして開催してまいります。また、市内スポーツ指導者等を対象に専門の指導方法や理論を学ぶ講習会を開催してまいりました。今後も継続して多種多様な講習会を開催し、競技力の向上に努めてまいります。

文化財保護行政においては、国・県及び市指定文化財の保存・管理のための定期的な巡回や除草作業等の実施及び施設等の整備、資料館の修繕、収蔵品の燻蒸処理を行いました。今後も適切な維持・管理に努めるとともに、文化財の普及と活用にも努めてまいります。また、国土交通省の砂防事業に伴う権現脇遺跡の整理調査や県営圃場整備に伴う諏訪ノ上遺跡の発掘調査なども行いました。今後も遺跡の発掘調査を継続しながら、保存と記録を図ってまいります。国指定史跡日野江城跡については、世界文化遺産である原城跡と同じ有馬氏の城跡であり、普遍的な価値を有するかけがえない文化財として調査・整備を進めてまいります。

平成30年9月

南島原市教育委員会

所 見

南島原市教育委員会が平成29年度の事務について行った自己点検及び評価に対する所見

第1の1 教育委員会及び教育委員の活動について

教育委員会の業務を総括・運営するにあたり、教育行政・活動を大きく左右するものであるが、定期的及び必要に応じて会合を開催し、市長を含む市行政機関との連携をとられ、目的遂行のため、事務局及び教育委員ともよく努力されている状況が伺え確実に評価する。

また、教育委員及び事務局員は、積極的に多くの学校訪問や行事参加を行い、現場の実態を観察・調査し、状況をきちんと把握され、教育行政に活かし、業務を遂行されようとする姿が見られ、十分に評価できる。

次年度も、委員会の職員・教育委員に教育行政全般を充実・向上させる強い共通理解が必要である。市・学校及び協力関係機関との連携を更に取り、指導的で的確な業務が遂行されるように切望する。

第1の2 教育委員会が管理又は執行する事務について

この分野において数年前南島原市教育振興基本計画を策定し、それぞれの項目内容に従い、日々努力している実践状況が伺える。

なおこの分野は教育長に委任できない分野でもあり、長の任命や教育予算の議案、市文化財の指定・解除等に関わるので、委員会及び委員の慎重な検討と公正なる審議を今後も実践されるよう希望する。

学識経験者の知見の活用を図ることにおいて、資料送付が早めになされ、説明も丁寧であったが、内容の一貫性や文書表現等一考を要する部分も見受けられた。常に全体的に報告書を検討すべきである。

第2の1 教育環境の充実に関する事務について

学校施設は、将来の南島原市を背負う子どもが学習・生活する場であり、夢を育み、実践に結びつける最大の良き場でなければならない。また、大災害が多発する昨今地域住民の緊急避難場所でもある。その事を十分に理解され、4中学校の非構造部材耐震化改修工事や、29件の小・中学校の整備及び21件の社会教育・体育施設改修が行われている事は一定の評価ができる。

異常気象が連日報道される昨今、市内中学校の普通教室に空調設置ができたことは画期的である。小学校も前倒しを図り、早急に取り組む必要がある。

また、市内の小・中学校を見渡すと今後も改修や新築が予想され多くの予算も必要になるので、整備改修については長期的展望計画を作成し、市行政や議会とも更に連携を取り、支援をいただき計画を推進すべきである。

第2の2 学校教育の推進に関する事務について

諸事情により不登校児童・生徒が存在したり、心に悩みを抱え、本来の学校生活を送りにくい子、また、生まれつき障害のある児童・生徒がいる実状を十分に把握され、それに対する特別支援教育助手の配置や心の教室相談員を配置して、全子どもに対処する姿が伺えた事は十分に評価できる。にも拘わらず、中学校で不登校生が増えている事は危惧する。指導主事を中心にして、委員会も相談機関・支援の組織として機能を発揮すること。

市独自で推進されている特色ある人間教育研究指定小・中学校事業や市教職員研修「さきがけ」や本市で誕生された偉大な二氏と関連された北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展は市民の文化向上や人格の高

揚に大きく寄与していたり、小・中学生の夢を育み夢に向かう努力の重要性に大きく影響を及ぼしていると考えられ高く評価できる。この事で事務に多忙をきわめるが、将来一人ひとりが価値ある人間であることの主旨を大切に、今後も開催するよう要望する。

学校統廃合については、適正規模・適正配置実行計画に基づいてなされ評価できる。今後も児童数が減少し統廃合が予想されるが、学校は今まで地域の核・文化面の中心にもなっているので、地域住民と十分に意見交換し、配慮して進める必要がある。また、数年前統合した学校の教育効果・地域に与える影響等の検証もアンケート等を実施して教育委員会が確実に把握する必要がある。

第2の3 社会教育の推進に関わる事務について

家庭教育はすべての教育の出発点という認識のもと、人材育成養成講座や119の学びの機会講座の開設やわくわく広場30講座、また、市内2会場で家庭教育講演会を開催した事は、市民力の向上であり、人材の育成と親の学びの機会充実・意識高揚に大きく貢献したと思われ、高く評価できる。

また、前年からの「南島原未来塾」や地域で学ぶ6泊7日を中心とした「通学合宿事業」も2町で行われ、児童や生徒及び保護者にとって家庭教育の在り方を見直すすばらしい機会となったと考えられる。そして、放課後子ども教室ながさき土曜学習推進事業「寺子屋21」は県内で最先端をいくと同時に、セミナーヨ版画展も出品数・参観者数とも大幅に増加し、本市が誇れる事業に成長していると思われる。それが青少年健全育成と非行防止に大きく寄与していると評価できる。

他の事業も小・中学生をはじめ市民が本物を鑑賞できたり・ふれる機会になって、心の豊かさ・情操向上に大きく貢献している事が伺え高く評価できる。市内6図書館2図書室の有効活用や司書を学校図書館へ派遣する等なされ、地域力を向上されようとする姿が伺え、すばらしい。更に活用を図るため、幼児向けの内容本・環境を充実させ、親子で図書館にいく体制づくり(新しい親子の学習・遊び場として)を推進して欲しい。

第2の4 スポーツ振興に関する事務について

市内の各所で大きなスポーツ大会や多岐にわたる内容で開催されている事は市民の健康増進・体力と運動能力向上に寄与すると同時に、スポーツによる地域活性化のため役にたっていると評価する。なお、2020年にはTOKYOオリンピックが開催される予定で、スポーツ熱と関心が更に高まることが考えられるので、スポーツ団体の支援と同時に連携を今以上に密にして、健康増進と競技力向上に努力する必要がある。

第2の5 文化財の保護活用に関する事務について

これまでの資料館や原城跡・日野江城跡等の維持管理や指定文化財の保護に努力された事が伺える。今後とも一体的な価値を有するかけがえのない文化財として調査・整備を進めるべきである。

原城跡が世界文化遺産登録になり、市・市民の自慢ともなった。このことで交流人口も増え、活気あふれる街づくりにも貢献されると思われる。温故知新と言われるように文化財は将来を見定める基礎であり、心のよりどころになる。どのように対処するかで、今後本市の発展を大きく左右すると考える。行政及び関連機関と細かな連携を取られるよう強く切望する。

平成 30年 9 月 7 日

池 田 英 一

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書（平成29年度事業分）」
についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会の定例会や臨時会等の運営・審議が計画的に遺漏なく進められ、教育委員各位の活発な意見交換や検討・報告が為されたことが伺える。

また、昨今の原則公開のルールに則り、今回も引き続き会議録の公開や市民への周知が、公告及びホームページを利用して為されたことを評価する。

併せて、会議資料の事前配付や各種研修会への参加機会の確保など、スムーズな連携が図られていることも分かる。

さらに、学校訪問その他各種学校行事等への参加が、各学校の教育環境の実態把握と改善の手立てを講じるために、計画的・定期的に進められていることを評価する。

総合教育会議では、定期の開催により教育委員と市行政機関との相互理解の上での連携が図られている。特に、今回のうち1回がコミュニティスクールについての内容であったということで、地域が一体となった教育の体制づくりの推進が期待される。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

平成25年度に策定された南島原市教育振興基本計画の目的及び目標指標の達成に向けて、努力・実践が図られていることが伺える。

一方、本計画が平成34年度までの10年間の策定期間であることから、昨年度の所見にも書かれてあったように、最終年度における成果指標が中間年度である今回、提示されているとよかったのではないかと思う。

廃校となった小学校や元有馬商業高校の後の校舎・跡地の活用については、諸計画の公開・広報や供用・活用後の効率的な運用が望まれる。

なお、義務教育学校の設置準備については、その周知を図り設置の必要性の有無を含めて、しっかりと進めてほしいところである。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に係る事務

学校施設が児童・生徒にとっては学びや活動の場であるとともに、地域住民にとっても、避難場所等としての役割を担保しなければならないことから、昨今の頻発する非常変災等に対して、その安全性の向上・確保は欠かせない。その認識のもとに、今後の計画も含めた耐震化改修工事等を進めていることを評価したい。

また、老朽化により整備・改修が必要な学校施設や社会教育・体育施設等については、緊急性の高いものから進められていることを評価する。最近の危険なブロック塀の撤去の件を含め、今後とも施設・設備の充実に向けて計画的に進めていただきたい。

なお、市内中学校の普通教室の空調設置に続き、平成30年度中に小学校の普通教室にも空調が設置されるとのこと、快適な学習環境づくりのための整備に感謝したい。

ともあれ、特に施設・設備の整備・改修等に限らず諸施策を実施する上では、やはりコストパフォーマンスや費用対効果を十分に考慮することが大事であると考え。

2 学校教育の推進に関する事務

発達障がいを含め、心身に障がいや悩みなどを抱えたりしている児童・生徒の受け入れ体制を構築し、特別支援教育の推進と充実を図っていることを一定評価したい。

その点で、市独自に支援助手・心の相談員・支援員などを配置しているが、その効果と実を上げるためにも、より専門的な指導者（支援者）の育成を図っていくことが必要かと考える。

一方で、本市には通級型心の教室「つばさ」があり、また小学校には数校に通級指導教室があるものの、中学校には1校もない現状がある。グレーゾーンにある子どもたちが、小学校では通級できても、中学校で通級の場合に行き場がなくなる。

その意味では、設置のための隘路は様々あろうが、中学校に1校でもよいから、そこを拠点校として他校からでも通級できるような場が設けられるよう要望したい。

そのことが、特別支援教育＝インクルーシブ教育システム（包容する教育制度）の推進にもつながるものと考えるので、諸々含めてもう一段アップしたシステムの再構築をお願いしたい。

市教職員研修は、「さきがけ」として定着した研修であり、新学習指導要領を見据え、時宜を得た内容によって教職員が意欲的に研修に臨み、しっかりと進められていることを評価したい。

とはいえ、大きなねらいは本研修等を通して教職員の資質を上げることであり、それによって、子どもたちの学力定着にきちんと還元できるかどうかということになる。

その点では、本市の小・中学生の全国・県での学力テストでの実態や正答率など、その結果には改善の傾向はあるものの、まだ不十分なところがあり課題を残している。そこで、その克服のための本市独自の方策・手立てを、さらに考えていただきたい。

さらには、教職員が子どもと向き合う・指導する時間の確保にも、より一層の工夫をお願いしたい。やはり、教職員の過重労働負担の軽減への手立てが必要である。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展やセミナリヨ版画展は、郷土の偉人として子どもたちが憧れ、また郷土の歴史に誇りをもつ機会となる、本市独自のすばらしい取り組みである。今後とも、学問・文化的価値の高い本事業の実施・運営の継続を図っていくことは大変ではあろうが、よろしくをお願いしたい。

指定研究や総合学習事業については、こちらも児童・生徒の学力や生活力等の向上に、しっかりと還元できるものであるよう期待する。

語学指導外国青年招致事業（外国語指導助手の配置）での実績を受けての増員や、学校給食関連設備整備事業は、いずれもA（拡充）の事業として運用が期待される。

特に、給食調理場の新たな設置については、現場の栄養職員（士）や調理員の方たちが働きやすい場となるよう打ち合わせ等を綿密に進め、運用に向けていただきたい。

学校統廃合等については、これまで統合した学校の効果の検証とともに実行計画に基づいて進められているが、有家小・蒲河小・新切小の統合の他に今後の状況によって、小学校では深江馬場分校・諏訪分校の廃止と本校統合の見直しや、中学校での新たな統廃合計画は必要ないのかどうか、再度俎上にのせていい時期なのかもしれない。

3 社会教育の推進に関する業務

子どもたちを取り巻く環境や社会構造が複雑化し、価値観も多様化・混迷化してい

る中、家庭教育に関わるサポーター等の人材の養成や親の学習機会の場の確保などの取り組みを評価する。

今後とも、地域社会の教育力や家庭の教育力をアップさせるための行政機関等からの具体的な手立てを策定・講じての実践や働きかけに期待したい。

地域による学校支援の充実では、学校支援会議を核とする取り組みが各種進められているが、より地域に開かれた学校として、今後は、書かれてあるように、コミュニティスクールへの移行をねらって、学校運営協議会の設置と活用を期待したい。

そして、地域・公民館等と学校が協働活動の場として、さらにできそうなもの・できるものを洗い出して、積極的な事業展開をすることで、よりスムーズに社会教育や家庭教育が推進されるよう願う。

また、青少年教育において、中学生の「南島原未来塾」では、その成果と実績が挙がり定着してきていることから、継続されてきているのはよいことである。

が、この他に小学生を対象にした、例えば島原市で夏休みに実施されているサマースクールやサマーキッズのような補充学習等の場が設けられないだろうか。それこそ、地域の人材活用と教育力を生かした取り組みのひとつになるのではないかと考える。

「寺子屋21」事業については、例えば同様の内容のものは、2か町で1箇所にし、人材確保を図るなどして、精選したりしてもよいのではないかと考える。

なお、人権教育にかかる事業についても、人権問題を深く考え、豊かな人権感覚を身に付ける場として、今後とも計画的に活用・展開していただきたい。

図書館の運営については、学校司書等の配置が小・中学校にあることが望ましいが、地域にある図書館（室）から派遣される司書を、今後ともしっかり確保してもらうことで、読書環境の充実と読書教育の推進を図っていただきたい。

アートビレッジ・シラキノ事業は、本地区の特色を生かして、廃校となった建物が積極的に活用され、文化芸術の交流促進とよき人材の育成・輩出の場となるよう願う。

4 スポーツの振興に関する事務

各種スポーツイベントの開催については、安全性を考慮した上でアクアスロン大会が今回外されたようだが、ほぼ現状を維持しており、また専門の指導者育成の講習会も、内容を工夫したもので評価したい。

原城マラソン大会は、世界文化遺産登録認定によって、今後ともそのPR活動を兼ねて、より一体となって盛り上げる場としてほしい。

一方、小学生水泳教室では、野田浜海水浴場が利用中止となったことは残念であるが、水難防止等を目的とした全地区での開催は、熱中症対策等を十分考慮し判断していただきたい。可能なら屋根付きプールがあるとよいので、設備改修を図ってほしい。

また、関連して、特に高齢者の健康増進やリハビリ等にも利用できる公共の（温水）屋内プールの設置はできないだろうか。このような施設が本市にはないため、隣の島原市や雲仙市にあるところに通っている人がけっこういると聞く。本市にもあると便利であると思われるので、その点を含めて、スポーツ施設や設備の拡充が望まれる。

スポーツ団体との連携は、各団体同士の横の連携強化を図り、市民の生涯スポーツへの関心とスポーツ熱がより一層高まることを期待する一方、総合型地域スポーツと関連しては、社会体育や部活動（運動部）などを学校単位で行うのではなく、急減し

ている児童・生徒数からして、地域にあるそれぞれの施設等を活用して、専門的な外部指導者をつけて行うような形に移行できないかということを考える。

他に小学生が学校単位で一堂に会し競技する大会（以前の小体連・小大会）が復活できればとも思うが、一考していただきたい。

いずれにせよ、各施策やスポーツイベント・行事を実施することにより、並行して2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まり、障がい者スポーツも含めて、スポーツの底辺人口と交流の拡大へつながるよう期待する。

5 文化財の保護活用に関する業務

この度の原城跡の世界文化遺産登録に対しての祝意と、関係各位のご尽力・ご努力に敬意を表するとともに、日野江城跡も含めて、今後とも一体となって、これらの稀有な価値を有するものの調査・整備や景観の保持等にさらに努めていただきたい。

ただ、これまでの他地域の登録認定とは意味合いが少し違うので、観光資源として生かしていくことは重要であるが、単なる集客のためだけでなく、この地の過去の歴史を学び、深い精神性や祈りの心などを感じ取る鎮魂の場として活用してもらいたい。

これまでの登録施設等では、一過性のブームに終わっているような先例も散見されることから、遺産の対象を考えた観光振興や、伴って保全活動をどう進めていくかなどを課題として、行政と地域住民や民間が知恵を出し合い協力体制を欠かすことなく、長期的な活用を図るための事業等の展開を期待したい。

関連して、本市ではふるさと教育の充実を図るため、副読本や補助教材を作成して、積極的な活用を進めていたり、口加高校のグローバルコースとタイアップした催しなども開いたりしているということで、それらを伝える若い人たちのガイド育成により、地域の活性化の一助としてほしい。

もちろん、PR・広報活動も不断に行っていただきたい。

他のことでは、各種資料館や文化財等は本市の誇れる貴重な財産であることから、その維持・管理、調査等については、万全を期するとともに、今後とも計画的に進めていただきたい。

「教育は、地域を担う子どもたちの未来への投資である」と言われます。

そのことを踏まえれば、教育行政は地域の将来を見据えながら、「ひと・もの・こと」の活用に全力を傾注し、教育予算を十分かけながらも、一つ一つにコスト意識を持った施策や事業をしっかりと展開していくことが大切であると考えます。

今回、教育委員会の各課それぞれが、その認識のもとに、P(Plan:計画) — D(Do:実行) — C(Check:確認) — A(Action:修正)といった、一連のマネジメントサイクルに則って、教育行政の執行や事業の推進等を図っていることを伺い知ることができました。

市民一人ひとりが「住み続けたいまち」そして「子育てしやすいまち」と願うまちづくりには、教育行政や教育委員会が担う役割は大きいものがあります。

それを念頭に置いて、自覚と責任を持って業務の遂行に当たってきってもらっていることを理解し、またそのことに感謝をいたし、以上、私の所見といたします。

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項目		点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク												
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> 審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議回数も適正であった。 定例会を12回[12回]（月1回）、臨時会を1回[1回]実施した。臨時会の内容は、小・中学校教職員人事異動の内申及び世界遺産影響評価委員会設置条例の制定に関するもので、定例会で審議しては間に合わない緊急を要する案件について実施したものである。 教育委員会に提案した議案等は、総数31件[44件]であった。 	B												
	② 広報、公聴活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の定例会及び臨時会開催の市民への周知は、公告及びホームページを利用して行った。 教育委員会の会議録については、平成28年1月の定例会から、ホームページによる公開を開始しており、今年度も同様の処置を行った。 詳細な会議録をホームページで公開…12回[12回] 													
(2) 教育委員と事務局との連携		<ul style="list-style-type: none"> 教育委員と事務局間において、年間を通じて重要事項となっていることについて、確実に連絡調整を行った。 教育委員会の議題のうち議案に関しては、教育委員が議案の検討を事前に十分行うことができるよう会議日以前に教育委員へ資料を送付した。 懸案事項等についても、教育委員会会議の所管事項で報告し、諸問題に係る意見交換や検討・報告を十分に行った。 	B												
(3) 教育委員会と市との連携		<ul style="list-style-type: none"> 総合教育会議において、積極的な意見交換が行われたので、教育委員会と市との連携は図られたと考える。 なお、副市長にも特別に参加を依頼し理解を深めた。 また、教育長は事務局の長として、市長・副市長と連携を図った。 総合教育会議…2回[2回]開催 	B												
(4) 教育機関等との連携	① 学校への訪問	<ul style="list-style-type: none"> 学校訪問は学校の教育環境の実態を把握し、必要に応じて改善の手立てを講じることが狙いである。原則として3年で全校を訪問することとしており、教育委員会としての責務により、学校訪問を行った。 訪問校数 …小学校6校[5校]、中学校3校[3校]、幼稚園1園[0園]を訪問した。 教育委員は、学校訪問の他に研究発表会、授業参観、卒業式、入学式などの各種行事にも事務局と連携して出席した。 	B												
	② その他施設への訪問	<ul style="list-style-type: none"> 各施設で行われる行事等の開催に合わせて訪問を行った。 													
(5) 教育委員の研修等		<ul style="list-style-type: none"> 外部研修会等には計画的な参加態勢をとり、研鑽に努めた。 また、新しい情報や懸案事項等については、その都度、教育委員会の会議の場において、議題にするなど一定の情報の共有化を図った。 各教育委員は、市内外で行われる教育講演会等に参加するなど自己研鑽に努めた。 [活動内容] 教育長 …都市教育長協議会（全国・九州・県）の研究会等に参加し各市の教育長との情報交換、懸案事例の検証等を行った。 教育委員（教育長も含む） …外部研修会に参加し、情報交換や研究等研鑽を行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全国対象</th> <th>九州内対象</th> <th>県内対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加回数</td> <td>1回[1回]</td> <td>2回[2回]</td> <td>8回[10回]</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人員</td> <td>1人[1人]</td> <td>6人[1人]</td> <td>16人[20人]</td> </tr> </tbody> </table>		全国対象	九州内対象	県内対象	参加回数	1回[1回]	2回[2回]	8回[10回]	参加延べ人員	1人[1人]	6人[1人]	16人[20人]	B
	全国対象	九州内対象	県内対象												
参加回数	1回[1回]	2回[2回]	8回[10回]												
参加延べ人員	1人[1人]	6人[1人]	16人[20人]												

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(1) 教育行政運営に関する一般方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> 「南島原市教育振興基本計画」を策定しており、その計画に沿った目的を達成するために一般方針を随時決定した。 	B
(2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定	<ul style="list-style-type: none"> 事例なし。 	—
(3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退についての内申	<ul style="list-style-type: none"> 任免その他の進退についての内申に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 教職員の人事内申 … 2月臨時会で議決 	B
(4) 教育長、教育次長、課長及びその他の教育機関（小学校及び中学校を除く）の長の任免	<ul style="list-style-type: none"> 任免その他の進退に係る決定は、教育委員会会議の中で遺漏なく審議した。 事務局職員の人事に係る審議… 3月定例会で審議した。（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第18条第7項の規定による） 	B
(5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定	<ul style="list-style-type: none"> 事例なし。 	—
(6) 教育委員会規則の制定又は改廃	<ul style="list-style-type: none"> 必要な規則等の制定改廃については、遅滞なく、漏れなく審議した。 規則、要綱、規程の制定改廃議案… 8件 [19件]（各定例会で議決） 	B
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を述べること	<ul style="list-style-type: none"> 必要な案件については、漏れなく審議した。 条例議案… 条例改正4件 [3件]（5月、11月、1月定例会及び2月臨時会） 契約議案… 財産取得3件 [3件]（9月、11月定例会） 予算議案… 当初予算案（2月定例会で報告） 補正予算案（5月、8月、11月、2月で報告） 	B
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	<ul style="list-style-type: none"> 必要な審議については、遅滞なく、漏れなく実施した。 委員の任命等議案… 5件 [8件]（各定例会で議決） 	B
(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> 島原・雲仙・南島原地区教科用図書採択協議会において調査審議し、教育委員会で採択することを議決した。 平成30年度使用の小学校教科用図書の採択… 7月の定例会で議決 	B
(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定	<ul style="list-style-type: none"> 事例なし 	—
(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定	<ul style="list-style-type: none"> 事例なし 	—
(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表	<ul style="list-style-type: none"> 自己点検及び評価を行い、その報告書を作成し、これを議会へ提出し、ホームページで公表した。 点検及び評価を行うに当たって、学識経験者の知見の活用を図ることができた。会議は3回行った。 	B

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク																																																				
(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事	<p>・ 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、今後は市と更なる連携をして整備を行っていく必要があり、その安全性の確保は極めて重要である。校舎及び体育館の耐震補強工事は平成26年度で終了したが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、中学校4校（5施設）の非構造部材耐震化改修工事を実施した。 今後も、小・中学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めていく予定である。</p> <p>・ 中学校の非構造部材耐震化改修工事…4校（5施設）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right;">工事費(円)</td> </tr> <tr> <td>加津佐中学校校舎外壁改修工事</td> <td style="text-align: right;">59,891,400</td> </tr> <tr> <td>北有馬中学校校舎外壁改修工事</td> <td style="text-align: right;">53,221,320</td> </tr> <tr> <td>西有家中学校校舎外壁改修工事</td> <td style="text-align: right;">63,626,040</td> </tr> <tr> <td>有家中学校校舎間仕切り建具改修工事（1期）</td> <td style="text-align: right;">18,360,000</td> </tr> <tr> <td>〃 屋内運動場建具等改修工事</td> <td style="text-align: right;">69,932,160</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">265,030,920</td> </tr> </table>		工事費(円)	加津佐中学校校舎外壁改修工事	59,891,400	北有馬中学校校舎外壁改修工事	53,221,320	西有家中学校校舎外壁改修工事	63,626,040	有家中学校校舎間仕切り建具改修工事（1期）	18,360,000	〃 屋内運動場建具等改修工事	69,932,160	合計	265,030,920	B																																						
	工事費(円)																																																					
加津佐中学校校舎外壁改修工事	59,891,400																																																					
北有馬中学校校舎外壁改修工事	53,221,320																																																					
西有家中学校校舎外壁改修工事	63,626,040																																																					
有家中学校校舎間仕切り建具改修工事（1期）	18,360,000																																																					
〃 屋内運動場建具等改修工事	69,932,160																																																					
合計	265,030,920																																																					
(2) 小・中学校の整備改修	<p>・ 小・中学校施設及び設備の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修工事を行った。 当初計画していた緊急性の高い19件と、年度途中で発生した10件、計29件について、工事を実施した。</p> <p>・ 小学校施設の整備改修工事…計20件</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right;">工事費(円)</td> </tr> <tr> <td>堂崎小学校屋内運動場改修工事</td> <td style="text-align: right;">49,654,080</td> </tr> <tr> <td>加津佐小学校校舎トイレ洋式改修工事</td> <td style="text-align: right;">1,760,400</td> </tr> <tr> <td>南有馬小学校消防設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">4,316,760</td> </tr> <tr> <td>南有馬小学校放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">3,394,440</td> </tr> <tr> <td>旧龍石小学校解体工事</td> <td style="text-align: right;">37,330,200</td> </tr> <tr> <td>布津小学校校舎11-1棟屋根防水改修工事</td> <td style="text-align: right;">5,199,120</td> </tr> <tr> <td>布津小学校体育館部分改修</td> <td style="text-align: right;">4,860,000</td> </tr> <tr> <td>布津小学校放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">3,075,840</td> </tr> <tr> <td>飯野小学校高圧受電設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">8,687,520</td> </tr> <tr> <td>深江小学校放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">2,910,600</td> </tr> <tr> <td>深江小学校馬場分校屋根改修工事</td> <td style="text-align: right;">9,936,000</td> </tr> <tr> <td>大野木場小学校校舎外壁塗装改修工事</td> <td style="text-align: right;">5,400,000</td> </tr> <tr> <td>小林小学校教室ロッカー改修工事</td> <td style="text-align: right;">2,824,200</td> </tr> <tr> <td>市内小学校（加津佐～西有家）エアコン整備工事設計業務</td> <td style="text-align: right;">2,916,000</td> </tr> <tr> <td>その他工事（7件）</td> <td style="text-align: right;">4,963,680</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: right;">147,228,840</td> </tr> </table> <p>・ 中学校施設の整備改修工事…計9件</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right;">工事費(円)</td> </tr> <tr> <td>加津佐中学校校舎トイレ改修工事</td> <td style="text-align: right;">8,322,480</td> </tr> <tr> <td>南有馬中学校屋外倉庫改築工事</td> <td style="text-align: right;">1,328,400</td> </tr> <tr> <td>北有馬中学校校舎トイレ洋式化改修工事</td> <td style="text-align: right;">1,333,800</td> </tr> <tr> <td>西有家中学校校舎トイレ洋式化改修工事</td> <td style="text-align: right;">4,920,480</td> </tr> <tr> <td>布津中学校放送設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">3,252,960</td> </tr> <tr> <td>その他工事（4件）</td> <td style="text-align: right;">5,676,480</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: right;">24,834,600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">172,063,440</td> </tr> </table>		工事費(円)	堂崎小学校屋内運動場改修工事	49,654,080	加津佐小学校校舎トイレ洋式改修工事	1,760,400	南有馬小学校消防設備改修工事	4,316,760	南有馬小学校放送設備改修工事	3,394,440	旧龍石小学校解体工事	37,330,200	布津小学校校舎11-1棟屋根防水改修工事	5,199,120	布津小学校体育館部分改修	4,860,000	布津小学校放送設備改修工事	3,075,840	飯野小学校高圧受電設備改修工事	8,687,520	深江小学校放送設備改修工事	2,910,600	深江小学校馬場分校屋根改修工事	9,936,000	大野木場小学校校舎外壁塗装改修工事	5,400,000	小林小学校教室ロッカー改修工事	2,824,200	市内小学校（加津佐～西有家）エアコン整備工事設計業務	2,916,000	その他工事（7件）	4,963,680	小計	147,228,840		工事費(円)	加津佐中学校校舎トイレ改修工事	8,322,480	南有馬中学校屋外倉庫改築工事	1,328,400	北有馬中学校校舎トイレ洋式化改修工事	1,333,800	西有家中学校校舎トイレ洋式化改修工事	4,920,480	布津中学校放送設備改修工事	3,252,960	その他工事（4件）	5,676,480	小計	24,834,600	合計	172,063,440	B
	工事費(円)																																																					
堂崎小学校屋内運動場改修工事	49,654,080																																																					
加津佐小学校校舎トイレ洋式改修工事	1,760,400																																																					
南有馬小学校消防設備改修工事	4,316,760																																																					
南有馬小学校放送設備改修工事	3,394,440																																																					
旧龍石小学校解体工事	37,330,200																																																					
布津小学校校舎11-1棟屋根防水改修工事	5,199,120																																																					
布津小学校体育館部分改修	4,860,000																																																					
布津小学校放送設備改修工事	3,075,840																																																					
飯野小学校高圧受電設備改修工事	8,687,520																																																					
深江小学校放送設備改修工事	2,910,600																																																					
深江小学校馬場分校屋根改修工事	9,936,000																																																					
大野木場小学校校舎外壁塗装改修工事	5,400,000																																																					
小林小学校教室ロッカー改修工事	2,824,200																																																					
市内小学校（加津佐～西有家）エアコン整備工事設計業務	2,916,000																																																					
その他工事（7件）	4,963,680																																																					
小計	147,228,840																																																					
	工事費(円)																																																					
加津佐中学校校舎トイレ改修工事	8,322,480																																																					
南有馬中学校屋外倉庫改築工事	1,328,400																																																					
北有馬中学校校舎トイレ洋式化改修工事	1,333,800																																																					
西有家中学校校舎トイレ洋式化改修工事	4,920,480																																																					
布津中学校放送設備改修工事	3,252,960																																																					
その他工事（4件）	5,676,480																																																					
小計	24,834,600																																																					
合計	172,063,440																																																					

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設、社会体育施設の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修を行った。 当初計画していた緊急性の高い11件と、年度途中で発生した10件、計21件について、整備改修を実施した。 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設の整備改修工事…計10件 旧白木野小学校改修工事 工事費(円) 47,235,767 深江ふるさと伝承館周辺舗装工事 1,857,600 布津公民館屋上防水改修工事 4,359,960 口之津図書館空調機取替工事 1,706,400 加津佐青年婦人会館改修工事 19,577,160 その他工事(5件) 8,957,658 小計 83,694,545 	
	<ul style="list-style-type: none"> 社会体育施設の整備改修工事…計11件 口之津体育館改修工事 工事費(円) 47,089,080 有家テニスコート照明設備改修工事 16,796,160 布津テニスコート改修工事 28,680,480 布津グラウンド高圧受電設備改修工事 6,300,720 社会体育施設トイレ改修工事 3,142,800 その他工事(6件) 6,876,780 小計 108,886,020 	
	<p style="text-align: right;">合計 192,580,565</p>	

2 学校教育の推進に関する事務

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(1) 新入学児童支援事業 (教育支援委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市に居住する心身に障害のある児童生徒（就学前の幼児を含む）に対し、それぞれの能力に応じた教育が受けられるよう、その判定と就学支援の適正を期して、教育委員会の諮問に応じて、その結果を答申し、適切な就学支援を行った。 ・ 開催期日 …7月12日(水)・11月15日(水) ・ 開催場所 …南有馬庁舎会議室 ・ 出席者 …教育支援委員13人、教育長他4人、計17人 ・ 審議件数 …66件[43件] 	B
(2) 特別支援教育推進事業 (特別支援教育助手の配置)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育助手は、特別な配慮を要する児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができるように配置した。そのことで、学校・保護者との連携が十分に図られ、児童生徒の状況に応じた学習指導、生徒指導、進路指導等への適切な支援ができた。 ・ 配置状況 <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 …28人 [28人]【指標28人】 配置学校数 …23校(5校は2人配置) [23校] 年間勤務日数 …190日 	B
(3) 子どもの悩み相談事業 (心の教室相談員の配置)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心の教室相談員は、悩み等を持つ児童生徒の相談を専門的に受けたり、ストレスを和らげたりすることができる第三者的な存在であり、校内における相談体制を整えるために配置した。不登校児童生徒数については、小学生は前年度より減少したものの中学生は増えており、心の教室相談員との連携を更に深めていく必要がある。また、通級型心の教室「つばさ」に相談員7人を配置し、個別に適応指導を進めており、児童生徒12人が通級し、卒業生4人が高等学校に進学する等の成果をあげた。 ・ 配置状況 <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 …19人[19人]【指標20人】 年間勤務日数 …心の教室学校相談員140日 …心の教室施設相談員200日 ・ 不登校児童生徒数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 …3人・全体の0.14%[4人・全体の0.18%] 中学校 …24人・全体の2.03% [17人・全体の0.95%] 計 …27人・全体の0.80% [21人・全体の0.60%] 【指標0.5%】 	B
(4) 子ども支援員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども支援員は、通常の授業における学習支援、作業支援及び学習環境整備等を行うとともに、教科等の学習を進める上での課題等を早期に発見し、学習意欲を向上させるために配置しており、児童生徒の心の安定を図り、離席する児童生徒の減少に寄与した。 ・ 配置状況 <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 …19人[19人]【指標20人】 配置学校数 …17校[17校] 年間勤務日数 …160日 	B
(5) 市教職員研修「さきがけ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南島原市の教育の在り方の実現を目指して、南島原市における喫緊の教育課題や教職員のニーズに応じた実践的な研修を行うことで、高い専門性と豊かな人間性をもった品格ある教職員を育成し、学校力の向上を図ることをねらいとしており、学力向上、授業改善、特別支援教育等をテーマとした研修を実施した。 ・ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 開設講座の種類 …7種類 実施講座数 …14講座 ・ 受講対象者 …全教職員 	B

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座終了後のアンケートから ねらいに基づく構成や運営がなされたか よかった … 73.0% [75.2%] ややよかった… 24.6% [20.0%] やや悪かった… 2.2% [4.1%] 悪かった … 0.2% [0.7%] 	
(6) 北村西望賞教育美術展 ・ 古野賞科学技術展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南島原市の出身で名誉市民である北村西望氏、同じく名誉市民である「世界初の魚群探知機の開発」で有名な古野清孝氏、古野清賢氏兄弟の功績を称え、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興を図ることを目的として開催した。 11月17日(金)～19日に展覧会を開催し、19日(日)には表彰式を開催した。 参観者数… 696人 [530人] ・ 北村西望賞教育美術展入賞者 総出品数 420点 [330点] 【指標410点】 西望賞…小学生 4人・中学生2人 [小学生 4人・中学生 2人] 奨励賞…小学生12人・中学生6人 [小学生12人・中学生 6人] 特選…小学生65人・中学生20人 [小学生60人・中学生17人] ・ 古野賞科学技術展入賞者 総出品数 116点 [91点] 古野賞…小学生1人・中学生1人 [小学生1人・中学生1人] 優秀賞…小学生2人・中学生1人 [小学生3人・中学生1人] 奨励賞…小学生6人・中学生2人 [小学生6人・中学生3人] 	B
(7) 人間教育研究指定小学校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ・ 指定期間… 2年間 ・ 指定校 …大野木場小学校 (平成28年度～29年度) …西有家小学校 (平成29年度～30年度) ・ 研究費 指定校に対し、研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ・ 研究実績 研究発表会の開催 大野木場小学校… 11月10日(金) 2年次 本発表 西有家小学校 … 9月28日(木) 1年次 中間発表 研究紀要の作成・配布 大野木場小学校… 11月10日(金) 2年次 本発表時 	B
(8) 人間教育研究指定中学校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ・ 指定期間… 2年間 ・ 指定校 …西有家中学校 (平成28年度～29年度) ・ 研究費 …指定校に対し研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ・ 研究実績 研究発表会の開催 西有家中学校… 10月27日(金) 2年次 本発表 研究紀要の作成・配布 西有家中学校… 10月27日(金) 2年次 本発表時 	B
(9) 総合学習事業(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。(1校平均109,200円 [107,600円]) 平成29年度においても、児童の興味・関心等に基づく学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ・ 決算額 … 1,413,290円 [1,370,826円] ・ 実施学校数 … 15校 [15校] 	B

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(10) 総合学習事業(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各中学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 (1校平均83,875円[85,750円]) 平成29年度においても、生徒の興味・関心等に基づく学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ・ 決算額 … 582,499円[589,079円] ・ 実施学校数…8校[8校] 	B
(11) 語学指導外国青年招致事業 (ALT・EATの配置)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内中学校に6人の外国語指導助手 (ALT) を配置し、中学校の外国語科及び小学校の外国語活動の充実を図った。直接ALTと触れ合うことで、児童生徒の発音・発声の習得や国際理解教育の推進に大きく寄与した。 また、英語指導助手 (EAT) 3名を新たに配置し、小学校英語教育の更なる充実を図った。 ・ 配置状況 (ALT) 配置人数…6人【指標6人】 配置校 …6校 (深江中、布津中、西有家中、北有馬中、南有馬中、口之津中) 派遣校 …中学校2校、全小学校、北有馬幼稚園 (EAT) 配置人数…3人 派遣校 …全小学校 	A
(12) 学校給食関連設備整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自校方式調理場の段階的解消に向けて取り組んだ結果、平成30年3月31日現在、7か所 (給食センター6か所、自校方式学校給食調理場1か所) である。 南島原市学校給食センターの建設に向けた基本・実施設計業務に着手し、平成29年度末までの間に5回の作業部会を開催した。 関係部局及び関係者と先進地視察を行った。 基本設計時での概算工事費を市議会に報告・説明を行った。 ・ 「作業部会」開催…9月、1月 (2回)、2月、3月 ・ 「先進地視察」…8月 (2回)、2月 ・ 「議会全員協議会」報告・説明…12月 	A
(13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年9月に策定した「南島原市立小学校適正規模・適正配置事業基本方針」を柱とし、小学校の適正規模・適正配置化を学校、保護者及び地域とともに進めていくため、平成24年8月に「南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画」を策定した。 平成29年度は、この実行計画に基づき、以下の取組を行った。 有家ブロック 「有家ブロック小学校統合に関する説明会」開催…5月22日 (月) 	B
(14) 幼児教育に係る事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北有馬幼稚園は、唯一の市立幼稚園として、「幼児期にふさわしい生活」、「遊びを通じた総合的な成長」、「生活の中での個に応じた発達」を教育方針に据え、幼児教育の推進を図った。 平成29年度も1年を通して折々の教育活動や行事を実施し、保護者や外部の評価も高かった。 なお、保育料については、平成29年度から私立と同額にした。 	B
(15) ICT機器の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板等のICT機器を整備し、小・中学校の授業改善を進め、児童生徒の学力向上を図った。平成29年度は、小学校1年生全学級に22台整備し、西有家中学校以外の中学校に各3台ずつ、合計21台 (計12台) 整備した。 [小学校全学級合計107台及び中学校は各学校4台ずつ合計34台を整備完了] 	A
(16) 中体連補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の振興を図りその活動を支援するため、南島原市中学校体育連盟及び各中学校に対し、中体連運営補助、大会出場補助、部活動補助等の経費の支援を行った。 部活動数…79部 全国・九州大会出場校 …全国大会2校、九州大会4校 	B

3 社会教育の推進に関する事務

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク										
(1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動	① 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員兼公民館運営審議会会議を年4回開催し、教育委員会が計画する事業の説明や事業の進捗状況、実績について報告を行った。 実践する社会教育委員を目指し、生涯学習課が主催する事業へ参加し、事業の意義や問題点などに対する指導や助言を行うこととした。 また、外部研修会等に参加した委員から、研修内容の報告を受け、研修成果について委員相互の共有化を図った。 さらに、社会教育委員の資質向上と活動充実を図ることを目的として大村市社会教育委員の富永耕造氏による講義を行い、社会教育委員としての使命感や社会教育の地域課題への取組について研鑽を積むことができた。 今後も、提言書「潤いとつながりのある地域教育力向上を図る」の具現化に向けた取組について協議を行っていくこととした。 ・ 第1回 5月26日(金) 平成28年度事業実績・平成29年度事業計画について (長崎県社会教育研究大会等について) 社会教育委員の共通する課題とテーマについて ・ 第2回 9月29日(金) 講義 「地域活動の在り方について考える」 ～地域づくりにどうかかわっていくか～ 大村市社会教育委員 富永 耕造 氏 全国公民館研究集会及び長崎県社会教育研究大会の報告 平成30年度の予算要求について 社会教育委員の共通する課題とテーマについて ・ 第3回 12月19日(火) 事例発表 「社会総がかりの家庭教育支援を目指して」 ～親子の育ちあいを支える仕組みづくり～ 生涯学習課 太田 由紀 平成29年度事業実績 平成30年度事業計画について 長崎県公民館大会九州ブロック社会教育研究大会の報告 社会教育委員の共通する課題とテーマについて ・ 第4回 3月27日(火) 事例発表 「次世代を担う子どもたちの 人材育成プログラムについて」 ～郷土の未来を子どもたちに引き継ぐために～ 生涯学習課 猿渡 忠敬 平成29年度事業実績 平成30年度事業計画について 長崎県社会教育委員連絡協議会理事会の報告 	B										
	② 委員の研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育並びに公民館関係の研究大会に積極的に参加することにより、社会教育委員兼公民館運営審議会委員としての意識向上と自己研鑽を図った。 また、市内で開催される社会教育事業にも積極的に参加し社会教育の普及に努めた。 <table border="1" data-bbox="491 1787 1326 1899" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>九州地区研究大会</th> <th>県研究大会</th> <th>県研修会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人員</td> <td>6人</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>			九州地区研究大会	県研究大会	県研修会	参加回数	2回	2回	3回	参加延べ人員	6人
	九州地区研究大会	県研究大会	県研修会									
参加回数	2回	2回	3回									
参加延べ人員	6人	10人	4人									
(2) 家庭教育支援の充実	① 地域人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育は全ての教育の出発点という認識に立ち、少子化や核家族化等による環境の変化に対応した家庭教育支援の充実を図るため、内閣府の補助事業等を積極的に活用し地域人材の育成と親の学びの機会の充実に努めた。 人材育成については、結婚・妊娠・出産・育児といった切れ目のないきめ細やかな支援を行うコアサポーターを養成し、また、家庭教育支援プログラムを進行するファシリテーターの養成や、保育士を中心として主に乳幼児期 	B										

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
	<p>に関する「保護者支援」の知識・技術等を身につけた保護者支援士の養成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援コアサポーター養成講座 12月3日(日)、12月4日(月)、3月5日(月)、3月6日(火) 3月26日(月) 受講者26人 [17人] 家庭教育支援プログラムファシリテーター養成講座 6月26日(月)、6月27日(火)、2月5日(月)、2月13日(火) 受講者34人 [22人] 南島原市保護者支援士養成講座 8月27日(日)、10月22日(日)、11月26日(日) 12月10日(日)、1月21日(日) 受講者39人 [48人] 	
② 学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに関心が高い乳幼児期から学びの機会創出を図るとともに、学びの場として家庭教育支援施設わくわく広場や公民館のほか、図書館の積極的な活用に努めた。 ・ 家庭教育学級 <ul style="list-style-type: none"> 市内119講座 [112講座] 受講者4,811人 [4,708人] (親子体験型家庭教育学級、親育ち講座ほか) ・ 家庭教育講演会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 8月11日(金) ありえコレジヨホール 安武信吾氏、安武はな氏 演題「食べることは生きること～あなたは子どもに何を遺せますか～」 参加者300人 [165人] 3月10日(土) 西有家総合学習センター 浦川末子氏 演題「子どもの幸福のために～親が今しておくべきこと～」 参加者149人 [115人] 	B
③ 家庭教育支援に関するネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援等にかかる研究調査及び学習啓発・相談等のプラットフォーム化を図り、きめ細かい伴走型支援を提供する施設として「わくわく広場」を開設した。情報提供や家庭教育啓発活動のほか、市民全体の家庭教育支援にかかる共通理解と啓発及び参加者の教育力向上をめざした学習会を行った。このように、現代的課題の解決に向けた一歩を踏み出したことは一定の評価ができる。今後も家庭教育支援のネットワーク化や親の学びの機会の充実に努めたい。 ・ わくわく広場における講座 <ul style="list-style-type: none"> 市内30講座 [33講座] 受講者365人 [347人] (家庭教育支援プログラム、おはなし会ほか) ・ 情報提供及び相談支援 (講座以外) <ul style="list-style-type: none"> 来所・訪問件数9件 [3件] 来所・訪問者40人 [1人] 	B
(3) 地域教育力の充実	<p>① 地域による学校支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の事業である長崎っ子を育む地域・家庭教育力向上推進事業のモデル指定も4年目を迎え、学校支援会議を核とした「南島原っ子の夢・憧れ・志育成プロジェクト」に基づき、学校・家庭・地域の更なる連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力向上に努めた。会議、研修会を通じて、これからの学校と地域の目指すべき姿として、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動へ移行するため、学校教育課と調整を図っていく。 ・ モデル校指定事業 <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度～27年度 有家小学校 平成28年度～29年度 南有馬小学校 平成29年度～30年度 布津小学校、飯野小学校、布津中学校の3校合同 	A

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
② 地域の教育力を生かした交流・体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 放課後学習支援事業（南島原未来塾） 学習塾に通っていない市内の中学3年生を対象に教員OB大学生その他地域指導者の協力を得て、学習支援塾「南島原未来塾」を加津佐と南有馬を除く市内6地区で開催した。家庭学習の定着と学力向上に努め、参加した中学生は概ね希望する高校へ進学することができた。 参加者数 120人 [108人] 指導者数 18人 [18人] 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室・ながさき土曜学習推進事業（寺子屋21） 放課後や週末等に学校や社会教育施設を利用して、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を夢や希望に向かってたくましく生き抜く子どもの育成を目的に、国の補助制度を受けて放課後子ども教室を実施した。この取組は年々拡充し、県内278教室のうち、本市で、年間を通して92教室を開催した。また、放課後児童クラブとの連携も充実してきており、地域の教育力の充実という点で特段の評価ができる。週末活動がメインであることから、今後平日の居場所づくりや学習活動の場として、学校図書館を活用した放課後教室の拡充に努めたい。 前期 85教室 参加者 延べ980人 [86教室・927人] 後期 88教室 参加者 延べ965人 [86教室・919人] 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 地域で学ぶ通学合宿事業 子どもたちが家庭から離れ、地域住民の協力の下6泊7日程度の合宿生活を通して、自主性・協調性、さらに感謝の気持ちを培うとともに、保護者は家庭教育の在り方を見つめ直す機会となった。 6泊7日通学合宿 有家 9月10日(日)～16日(土) ありえコレジヨホール 43人 [26人] 南有馬 11月5日(日)～11日(土) 原城オアシスセンター 20人 [16人] 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成事業 市内子ども会の育成、助長を図り、地区子ども会間の連携及び相互の進歩向上を期することを目的に実施した。 子ども映画会 8月17日(木) ありえコレジヨホール 676人 [636人] のびのび少年デー 11月11日(土)～12日(日) 口之津地区 532人 [870人] 次期ジュニアリーダー研修会 54人 [101人] 2月5日(月) 国立諫早青少年自然の家 3月3日(土)～4日(日) 千々石少年自然の家 市内2地区に分けて開催 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 心のふるさと交流事業 本市の中学生を派遣し、東日本大震災被災地でのボランティア活動や復興支援を行うことにより、本人や本市の将来について考える契機とするとともに、未来を担う人材育成の貴重な機会となった。 8月22日(火)～26日(土) 4泊5日 24人 	B
③ 地域ぐるみの健全育成活動	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成事業 青少年の健全育成及び非行事故防止を目的に実施した。 自然と遊ぼう 4月29日(土) 有家俵石自然運動公園 約2,500人 [2,000人] 少年ソフトボール大会 7月23日(日) 有家総合運動公園 9チーム [11チーム] 夏休み帰宅放送（各中学校代表） 夏休み期間 7月21日(金)～8月31日(木) 	B

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク																														
	ファミリンピック 11月11日(土) 布津世紀の泉 700人 [700人] 南島原市民会議広報紙配布(学校経由他) 4, 500部×2回 (9, 000部)																															
④ 成人教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館講座等の学習活動の機会と内容の充実を図るとともに、学習の成果を社会に還元できるような環境の整備に努めた。平成29年度南島原市文化協会との連携公民館講座を開催し、34講座に延べ人数750人の参加があり受講者の中にはそのまま文化協会へ加入した人も多く、会員拡大・充実を図ることができた。また、長崎県立大学が開校している地域公開講座「歩健学のすすめ」を5回開催し、専門的な知識を市民参加者へ提供することができた。今後も地域課題に即した講座や人づくり・地域づくりに繋がる学習会、自治公民館などとの連携事業を企画し、公民館本来の役割を考えた事業の実施に努めたい。 また、市内各地域において自治会・公民館活動を積極的に行っている取組事例を紹介し、市民一人ひとりが今後の南島原市を考え、地域が抱える課題解決のヒントとなるよう「地域の力を考える集い」を4地区で開催した。 課題解決に向け、「何が必要なのか?、何が足りないのか?、震災が起きたら?」など市民一人ひとりが今後の南島原市を考える機会となり、市内に眠っている地域資源や人材の掘り起しなど、地域の皆様に提供することができた。 また、集いには市内の高校生も参加しており、南島原市の将来を担う若者の故郷への思いも聞くことができた。今後も継続して開催する。 ・ 各種公民館講座の開設 <ul style="list-style-type: none"> 地域公開講座(長崎県立大) <ul style="list-style-type: none"> 1講座 [9講座] 5回 [4回] 延べ71人 [148人] 一般講座(文化協会連携講座含む) <ul style="list-style-type: none"> 51講座 [50講座] 286回 [325回] 延べ2,746人 [4,226人] ・ 地域の力を考える集い <table border="0" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>深江・布津会場</td> <td>12月 9日(土)</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>有家・西有家会場</td> <td>11月25日(土)</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>北有馬・南有馬会場</td> <td>11月18日(土)</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>口之津・加津佐会場</td> <td>12月17日(日)</td> <td>91名</td> </tr> </table> 	深江・布津会場	12月 9日(土)	51名	有家・西有家会場	11月25日(土)	59名	北有馬・南有馬会場	11月18日(土)	33名	口之津・加津佐会場	12月17日(日)	91名	A																		
深江・布津会場	12月 9日(土)	51名																														
有家・西有家会場	11月25日(土)	59名																														
北有馬・南有馬会場	11月18日(土)	33名																														
口之津・加津佐会場	12月17日(日)	91名																														
⑤ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年人権教育推進事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> 青少年人権講演会(市内全ての中学生対象) <table border="0" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>12月 4日(月)</td> <td>口之津・布津中学校</td> <td>講師: SYD修養団</td> </tr> <tr> <td>12月 5日(火)</td> <td>南有馬中学校</td> <td>講師: SYD修養団</td> </tr> <tr> <td>12月 5日(火)</td> <td>深江中学校</td> <td>講師: 松川 美代</td> </tr> <tr> <td>12月 6日(水)</td> <td>加津佐中学校</td> <td>講師: 小玉 澄香</td> </tr> <tr> <td>12月 7日(木)</td> <td>北有馬中学校</td> <td>講師: 八木 正勝</td> </tr> <tr> <td>12月11日(月)</td> <td>西有家中学校</td> <td>講師: 松川 美代</td> </tr> <tr> <td>1月24日(水)</td> <td>有家中学校</td> <td>講師: ささえさんの会</td> </tr> </table> 人権教育学習会(市内小学生対象) <table border="0" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>12月 5日(火)</td> <td>加津佐小学校</td> <td>講師: 菅 康弘</td> </tr> <tr> <td>1月17日(水)</td> <td>布津小学校(5年生)</td> <td>講師: 林田 充敏</td> </tr> <tr> <td>1月25日(木)</td> <td>布津小学校(3年生)</td> <td>講師: 吉井 隆司</td> </tr> </table> 	12月 4日(月)	口之津・布津中学校	講師: SYD修養団	12月 5日(火)	南有馬中学校	講師: SYD修養団	12月 5日(火)	深江中学校	講師: 松川 美代	12月 6日(水)	加津佐中学校	講師: 小玉 澄香	12月 7日(木)	北有馬中学校	講師: 八木 正勝	12月11日(月)	西有家中学校	講師: 松川 美代	1月24日(水)	有家中学校	講師: ささえさんの会	12月 5日(火)	加津佐小学校	講師: 菅 康弘	1月17日(水)	布津小学校(5年生)	講師: 林田 充敏	1月25日(木)	布津小学校(3年生)	講師: 吉井 隆司	B
12月 4日(月)	口之津・布津中学校	講師: SYD修養団																														
12月 5日(火)	南有馬中学校	講師: SYD修養団																														
12月 5日(火)	深江中学校	講師: 松川 美代																														
12月 6日(水)	加津佐中学校	講師: 小玉 澄香																														
12月 7日(木)	北有馬中学校	講師: 八木 正勝																														
12月11日(月)	西有家中学校	講師: 松川 美代																														
1月24日(水)	有家中学校	講師: ささえさんの会																														
12月 5日(火)	加津佐小学校	講師: 菅 康弘																														
1月17日(水)	布津小学校(5年生)	講師: 林田 充敏																														
1月25日(木)	布津小学校(3年生)	講師: 吉井 隆司																														
⑥ 芸術文化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民に親しまれる本物の舞台芸術や展覧会などの鑑賞機会を提供し文化・芸術の振興と豊かな地域づくりの推進を目的に開催した。今後、更に多くの方が気軽に鑑賞できる機会の提供を図りたい。 ・ 青少年劇場の開催(中学生を対象) <ul style="list-style-type: none"> 内容 演劇『知覧・青春』～アイ・アム・ヒア!～ 6月6日(火)・8日(木) 加津佐・深江中学校 417人 [139人] 	B																														

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもミニコンサートの開催（小学生対象） 内容「ピアノトリオ」（ピアノ、ヴァイオリン、コントラバス） 7月5日(水)～7日(金) 市内6小学校 925人 [586人] ・ 子ども夢劇場の開催（小学生対象） 内容 児童劇 「かぶとやま大騒動！」 劇団風の子中部 10月17日(火)～20日(金) 市内4会場 5小学校 793人 [1, 388人] ・ ひまわり夢劇場の開催（幼児対象） 内容 人形劇「ピノキオ」 劇団ばれっと 6月28日(水)～30日(金) 市内3会場 935人 [814人] 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化振興事業の開催 OMURA室内合奏団親子コンサート 10月 1日(日) ありえコレジヨホール 198人 第62回長崎県美術展覧会移動展—南島原市会場展— 11月 9日(木)～12日(日) ありえコレジヨホール 728人 イルカほのぼのコンサートWe Love You Planet!～ひびけ!惑星に～ 12月 2日(土) ありえコレジヨホール 680人 由紀さおり講演会～美しい日本語の歌を伝えたい～ 1月13日(土) ありえコレジヨホール 352人 第1回 南島原市中学校吹奏楽部合同演奏会 12月24日(日) ありえコレジヨホール 428人 春風亭昇太・柳家喬太郎二人会 3月18日(日) ありえコレジヨホール 461人 	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナリヨ現代版画展の開催 第17回南島原市セミナリヨ現代版画展 2月24日(土)～3月4日(日) ありえコレジヨホール 同巡回展 雲仙ビードロ美術館、長崎県美術館 応募総数13,843点 [11,792点] 参観者数 3,252人 [2,685人] 	A
⑦ 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の利便性を向上させ、より使いやすい図書館運営を図るため、市内6図書館、2図書室が連携・協力し読書活動の推進に取り組んだ。 また、「子どもと本でつながる学校と図書館」連携事業として、学校図書館に図書館司書を派遣し、小・中学校図書館、図書館、公民館図書室が相互に連携し、図書資料の充実を行い、子どもの読書活動推進に取り組んだ。 更には、家庭教育支援施設としての機能の充実を図るため、親子や幼児を対象とした図書館教室の開催や、乳幼児図書の充実に努めた。 このように他市にない充実した読書環境の地域性を生かし、知の地域づくりに努めるもので、図書館と学校図書館の連携により、学校図書館の充実と子どもの居場所づくりや読書教育充実につながったことは一定の評価ができる。今後も保護者や地域住民によるボランティアの育成を目指し社会教育行政職員、図書館職員、図書館ボランティア、学校などの関係機関と連携を密にし、知の地域づくりに取り組んでいきたい。 	B
⑧ 読書活動 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ おはなしカーニバルin南島原～きてみんなね～!! 6月24日(土) ありえコレジヨホール 劇団かかし座 影絵「長靴をはいたねこ」 ・ 「絵本ライブin学校図書館」 1月12日(金) 有馬小学校(午前) 大野木場小学校(午後) ・ 図書館教室(図書館まつり含む) 各図書館 参加延べ人数 13,545人 [11,794人] ・ 図書館まつり 各図書館 	B
⑨ 図書ボラン ティアの 育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書サポーター養成講座 11月11日(土)、11月25日(土)、1月11日(木) 全3回 ありえコレジヨホール他 受講者延べ192人 [161人] 	B

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館友の会支援事業 図書館友の会7団体へ運営費補助 ・ 旧白木野小学校を市民が気軽に芸術文化に触れる機会や、アーティストと交流する地域交流プログラムなどを開催する芸術文化の拠点施設とするため、内閣府の地域創生拠点整備交付金を活用して改修を行った。 今後は、若手芸術家を招聘するアーティスト・イン・レジデンス事業、展覧会・教室・講座の企画運営などを行っていく。 ・ 総事業費 55,404,000円 	A

4 スポーツの振興に関する事務

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(1) スポーツイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 現在実施しているスポーツイベントは、市民の健康増進と体力、運動能力の向上及びスポーツによる地域活性化に視点をおいた取組を行っている。また、幼児期から高齢期の方々まで楽しみながらできる生涯スポーツの普及に努めている。 一部のイベントにおいて、企画運営を総合型地域スポーツクラブ「TEAMひまわり」へ委託することにより企画や運営面の向上を図った。 役員についてはスポーツ推進委員会を中心に依頼をしているが、推進委員以外の役員確保が大きな課題となっている。 	
① 南向きファミリー元気フェスタ！	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、平成24年度からは企画、運営を総合型地域スポーツクラブ「TEAMひまわり」へ委託して行われている。今回は、世界で活躍するスポーツトレーナーによる子ども、大人向けの体幹トレーニングを学び、運動能力の向上を目指した。 ①スポーツ鬼ごっこ体験（全員参加） ②体幹トレーニング（小中学生対象） ③ヤムナボールメソッド（大人対象） <p>10月22日(日) 106人 [80人]</p>	B
② 口加駅伝競走大会	<ul style="list-style-type: none"> 駅伝の魅力であるチーム競技として多くの参加者で盛り上がっている。コースは加津佐B&G海洋センター前をスタート、ゴールの周回コース。 <p>12月10日(日) 41チーム・272人 [44チーム・277人]</p>	B
③ 南島原市綱引き大会	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、小学生やPTA、一般からの多くの参加者と応援者で活気のある大会として好評である。 小学生の部では体力の差もあるが、練習を重ねてきたチームが入賞しており競技力とチーム力の向上が見られる。運営面の改善を行いながらスムーズな運営を図った。 <p>6月25日(日) 34チーム・358人 [28チーム・283人]</p> <p>【指標600人】</p>	B
④ 原城マラソン大会	<ul style="list-style-type: none"> 今大会は、雨天の中の開催となったが、昨年同様大勢の参加者で盛り上がった大会となった。電話受付業務委託など大会運営が、年々安定してきた。 会場内では各協賛店の出店や素麺の無料サービスなどで特産品のPRを行い、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のPR活動も行った。 招待選手は、元オリンピックマラソンランナーのマウラ・ヤマウチさんや十八銀行女子陸上部、県高校駅伝で活躍の松浦高校陸上部、アトラクションとして、有家中学校吹奏楽部の演奏により大会に花を添えた。 <p>2月25日(日) 1,934人 [2,066人] 【指標1,750人】</p>	B
⑤ 小学生水泳教室	<ul style="list-style-type: none"> 本市は前浜・野田浜・白浜海水浴場といった美しい自然環境を有していることから水泳に親しむ環境づくりと、水難防止の目的のため市内全地区で低学年を対象に水泳教室を開催した。 <p>7月29日(土)～8月3日(木) 294人 [266人]</p>	B
⑥ フィットネススクール	<ul style="list-style-type: none"> 市民の体力の保持と健康増進を目指し、ヨガ、ズンバ（訳注1）などのフィットネススクールを開催した。 <p>6月19日(月)～12月12日(火)までのうち21回361人 [198人]</p> <p>(訳注1：ラテン音楽を主に様々なジャンルの音楽で踊る、日本でもっとも普及している総合ダンスエクササイズ)</p>	B
⑦ 市民スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会主催による市民スポーツ大会を開催している。運営については体育協会の加盟団体に依頼しており、県民体育大会出場の前選会としての位置付けの大会である。 なお、市体育協会の事務局である本課職員が市民スポーツ大会の会場を巡回して連携を図った。 <p>7月9日(日)～9月3日(日) 2,320人 [2,296人]</p>	B
⑧ スポーツ専門指導員育成講習会	<ul style="list-style-type: none"> 市内スポーツの競技力向上を見据え、少年スポーツ指導者、スポーツ関係者、スポーツ推進委員等を対象に専門的なトレーニング知識の習得とレベルアップを図ることを目的に平成23年度から取り組んでいる事業である。 講演 講師：浅岡 良信 氏 ①美しく輝かせる3つのこと シンクロナイズドスイミングの競技特性やフィジカルトレーニング 	B

項目	点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
	<p>を中心に体幹、上肢、下肢の強化について講演 実技 講師：鈴木 智 氏 ②ヤムナボディーローリングで体が変わる ヤムナボール（訳注2）を使用して、体を様々な方向にストレッチし、本来の体を取り戻す実技 （訳注2：反発力のあるボールで、自分の体重を乗せ骨や筋肉に適度な刺激を与え活性化させるボディーケア専用のボール） 10月20日（金） 33人 【指標100人】 委託事業先 TEAMひまわり</p>	
(2) スポーツ団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な考え方として、競技スポーツの普及と競技力向上については、体育協会の加盟団体に委ねながら同調した形での推進を図っていく方針を持っている。また、市として実施する生涯スポーツに関する事業等についてはスポーツ推進委員の協力を得ながら、連携して実施していきたいと考えている。 ジュニアの競技力向上を図るために、指導者育成講習会等を開催しながら体育協会と連携した取組を進めている。 また、総合型地域スポーツクラブ「TEAMひまわり」との連携を図り幼児から高齢者まで、幅広い年齢層に対応したスポーツ環境を構築している。 ① 南島原市体育協会との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 現在22競技団体（そのうちトライアスロン協会は準加盟）が加盟しており、市民スポーツ大会の開催や県民体育大会への選手団の派遣等、市内競技スポーツの競技力向上に取り組んだ。 ② 南島原市スポーツ推進委員会との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 現在（平成28年度～29年度任期）のスポーツ推進委員の人数は、80人である。 市内全てのスポーツ事業において協力を得ており、各種事業が支えられた。 また、各地域で開催されている地区体育祭等の行事においても中心的な役割を持ち、地域活性化の一役を担った。今後は、各地域へ軽スポーツの普及を検討していく。 ③ 総合型地域スポーツクラブとの連携 <ul style="list-style-type: none"> • TEAMひまわりは、幼児期からの運動能力・運動神経の向上を目的とした保育園・幼稚園を巡回する「からだ遊び」教室や各種スポーツ教室を主たる事業とし、また、平成26年度から市の事業の講師派遣業務や企画運営業務の委託を行っている。 事業経営については一定期間、市の支援が必要であると考え、運営補助金の交付などを行った。 課題としては、スタッフの確保が難しいことや会員数が伸びていないことから、新しい事業展開を図る必要がある。 保育園・幼稚園を巡回して行っている「からだ遊び」教室が軌道に乗り、「TEAMひまわり」の主事業的な位置付けになっていることから、このまま事業運営を安定的に継続していくために市からの補助金を平成30年度までとしている。 ④ 小学校社会体育活動支援 <ul style="list-style-type: none"> • 児童の健全な育成と体育・スポーツ活動の振興を図るため、児童で組織するクラブ活動に対して補助金を交付した。 43クラブ [49クラブ] 	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

5 文化財の保護活用に関する事務

項目		点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
(1) 資料館等の維持・管理		・ 引き続き収蔵品の保存管理に努めるとともに展示資料等についてより一層の周知を図る必要がある。	B
	① 口之津歴史民俗資料館	・ 口之津歴史民俗資料館収蔵品の燻蒸処理、修繕、施設ガイダンス（館長解説） 入館者数 5,602人[6,850人]	
	② 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館	・ 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館展示資料の整理並びに説明 入館者数 356人[393人]	
(2) 指定文化財の保護・管理	① 指定文化財の保護管理	・ 国指定・県指定・市指定文化財の保存管理に努める。特に日野江城跡や原城跡においては、景観が損なわれることのないように配慮する必要がある。 原城跡と日野江城跡の史跡等を主に除草作業を実施した。市内史跡の除草作業も定期的実施している。緊急雇用対策事業による除草作業も同時に実施されているため除草作業区域が拡大した。 ・ 妙香古墳見学路修繕の外、1件の施設等整備を実施した。	B
	② 指定文化財の巡回	・ 指定文化財の巡回を行い、き損等の初期発見に努める。 県指定文化財 【指標文化財巡視活動回数（年間）6回】 市指定文化財 月1回加津佐から深江の主な文化財の巡回を兼ねて除草作業を実施する。	
	③ 指定文化財の防災訓練	・ 指定文化財の防災訓練を地域住民と協力して行う必要がある。 平成30年1月26日（金）に口之津歴史民俗資料館から出火した想定で文化財防火訓練を実施した。	
(3) 埋蔵文化財の発掘調査	① 権現脇遺跡本調査	・ 国土交通省受託事業 水無川資材搬入路工事に伴う発掘調査の整理作業を行った。	A
	② 諏訪地区本調査	・ 県営圃場整備に伴う発掘調査委託金事業 調査面積 1,460㎡完掘 [1,334㎡]	
	③ 内野遺跡隣接地発掘調査等事業	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 20㎡ 縄文時代早期及び晩期の遺物包含層を確認したため、新規遺跡として大坂遺跡を登録した。	
	④ 内野貝塚範囲確認調査	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 32㎡ 弥生時代後期を主体とする良好な包含層及び遺構面を確認した。	
	⑤ 津波見地区試掘調査	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 148㎡ 調査個所のほとんどが削平、若しくは造成されている状況であり、明確な遺構面、遺物包含層は確認されなかった。	
	⑥ 馬場地区確認調査	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 120㎡ 縄文時代早期、後晩期及び弥生時代を主体とする遺物包含層を確認した。	
	⑦ 浦田遺跡範囲確認調査	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 11㎡ 弥生時代後期を主体とした土器、石器、木製又鋏等の遺物及び同時期のどんぐり貯蔵穴、横木を伴う板列、溝、杭列を確認した。	
	⑧ 日野江城城下地区遺跡範囲・内容確認調査	・ 市内遺跡発掘調査事業 調査面積 11㎡ 集石遺構や袖石とも考えられる方形の石材を確認し、土師質土器や陶磁器片を検出した。	
	⑨ 慈恩寺跡本調査	・ 市道改良工事に伴う発掘調査事業 調査面積 145㎡ 縄文時代後晩期を主体とする遺物包含層を確認した。	
(4) 文化財保護審議会	① 指定文化財等施設整備	・ 市指定文化財等の施設整備について審議した。2件 [3件]	B